

平成30年度 学校評価総括評価表

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見 今後の改善方策
学力の育成	(全校レベル) (1) 規律ある授業の実施に努め学習態度と意欲の向上に努める  (下位組織レベル) (1) 基礎学力の向上を行う (2) 教科指導の充実とレベルアップを行う	評価指標 (1) 生徒の授業満足度調査 80%以上 (2) 授業実施時間数の状況調査 1単位27時間以上 (3) 生徒の成績状況調査 年2回以上 (4) 漢字検定実施状況調査 9回 5級以上 70%以上 (5) マナトレ(数学補習)実施状況調査 20回 8級 50%以上 (6) 計画的な職員研修の実施状況 研究授業 3回以上 授業力向上職員研修会 1回以上	評価指標の達成度 評定 総合評価	(所見)	
		活動計画 (1)-1成績不振者に対するきめ細かな指導に努める。 (1)-2追試・補講を実施して強力に指導を行う。 (2) 授業時間を集計し授業時間の確保に努める。 (3) 実力テストを実施して学力の実態把握を行う。 (4) 漢字検定を実施して読み書き力の養成に努める。 (5) 数学学び直しを実施して計算力の養成に努める。 (6)-1年間指導計画を作成し、効果的な教育内容の構築を図る。 (6)-2教職員研修計画を作成し、指導力の向上を図る。	活動計画の実施状況		

【備考】 総合評価における「評定」の基準】 A：十分達成できた。 B：概ね達成できた。 C：達成できなかった。

平成30年度 学校評価総括評価表

徳島県立池田高等学校三好校 2-I-II (生徒指導課)

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見 今後の改善方策
生活力の育成	(全校レベル) (1)基本的な生活習慣の確立を図る。 (2)生命尊重の意識の高揚と交通事故の撲滅を図る。  (下位組織レベル) (1)保護者との連携を密にし、相互理解の上で指導の充実を図る。 (2)遅刻・欠席指導の徹底を図る。 (3)身だしなみ指導の徹底を図る。 (4)登下校指導を行う。 (5)交通安全指導の徹底を図る。	評価指標 (1)家庭訪問実施回数 50回未満 (2)遅刻者率 0.5% (3)身だしなみ指導者率 10% (4)車両定期点検の実施回数 5回以上 (5)交通事故加害者数 0人 (6)いじめ問題件数 0件	評価指標の達成度 評定 総合評価	(所見)	
		活動計画 (1)修学困難生への家庭訪問を実施する。 (2)-1遅刻カードを使い確実に遅刻者を指導する。 (2)-2無断遅刻・無断欠席数調査を月末集計し、多い者への改善指導を徹底する。 (3)毎月初めに頭髪・服装等身だしなみ検査を実施して指導を徹底する。 (4)車両登録をさせ、学期初めと学期終わりに安全点検と学期毎に集会を行い交通事故を未然に防ぐ。 (5)-1自転車、バイクを利用して通学する生徒に対する実技指導を行う。 (5)-2登下校指導計画を作成し指導を行う。 (あいさつ, 遅刻, 服装) (5)-3教職員一斉による通学路の危険箇所における交通安全指導を行う。 (6)-1いじめ問題の早期発見を行う。 (アンケート調査の実施) (6)-2いじめ問題の早期解決を行う。 (事後指導の確認)	活動計画の実施状況		

【備考】 総合評価における「評定」の基準】 A：十分達成できた。 B：概ね達成できた。 C：達成できなかった。

平成30年度 学校評価総括評価表

徳島県立池田高等学校三好校 3-I (進路指導課)

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見	今後の改善方策
進路・ キャリア 教育	(全校レベル) (1)一人一人の生徒の適性を踏まえ、能力を生かした進路の実現のための進路指導・キャリア教育を推進する。  (下位組織レベル) (1)生徒の進路希望の把握と適性・能力を加味した、進路意識の高揚に努める。 (2)進路情報の提供を丁寧に継続的に行う。 (3)事業所・進学先・ハローワーク・市役所等との連携に努める。 (4)生徒の学力の実態把握に努め、学力向上を推進する。	評価指標 (1)3年生進路内定率 100% (2)2年生終了時の進路希望未定者 0 (3)進路希望調査 年間2回以上 (4)面接回数 一人あたり3回以上 (5)進路ホームルーム活動 年間3回 (6)事業所訪問 25社以上 (7)進路補習への参加率 90%以上 (8)マナトレ実施状況 ①実施回数 20回以上 ②7級合格率 50%以上 (9)効果的な進路講演会及び進路ガイダンスの実施 各学年 年2回	評価指標の達成度 評定 総合評価		
		活動計画 (1)個人・三者面談等を積極的に企画。3学年団との協力を密にする。 (2)面談の結果から進路指導の基礎資料を作成する。 (3)定期的に進路希望調査を行う。 (4)効果的な面接方法についての資料提供等を行う。 (5)3年間の系統的なホームルーム活動を実施する。 (6)従来からの関係事業所同様、新規事業所への開拓にも力を入れる。 (7)基礎学力の向上と進路に対する意識を高める。 (8)マナトレ学習帳を各自使用し、個々の学習進度に応じたトレーニングに励ませる。 (9)適切な時期に適切な話をしていただけ講師を探し、生徒の心に訴えるような講演会・ガイダンスを企画する。	活動計画の実施状況		

【備考】 総合評価における「評定」の基準】 A：十分達成できた。 B：概ね達成できた。 C：今後の努力が必要。

平成30年度 学校評価総括評価表

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と								
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	今後の改善方策								
生活力の 育成	(全校レベル) (1)特別教育活動の充実を図る	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>                     (1)ホームルーム活動満足度 80%以上                      (2)生徒会の活動状況                      学校行事の満足度 90%以上                      (3)各種専門委員会の活動状況                      年間活動回数 6回以上                      (4)部活動の加入状況 80%以上                 </td> <td>評価指標の達成度</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>評定</td> <td>総合評価</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(所見)</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	評価指標	(1)ホームルーム活動満足度 80%以上 (2)生徒会の活動状況 学校行事の満足度 90%以上 (3)各種専門委員会の活動状況 年間活動回数 6回以上 (4)部活動の加入状況 80%以上	評価指標の達成度	<table border="1"> <tr> <td>評定</td> <td>総合評価</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(所見)</td> </tr> </table>	評定	総合評価		(所見)			
	評価指標	(1)ホームルーム活動満足度 80%以上 (2)生徒会の活動状況 学校行事の満足度 90%以上 (3)各種専門委員会の活動状況 年間活動回数 6回以上 (4)部活動の加入状況 80%以上	評価指標の達成度	<table border="1"> <tr> <td>評定</td> <td>総合評価</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(所見)</td> </tr> </table>	評定	総合評価		(所見)					
評定	総合評価												
	(所見)												
(下位組織レベル) (1)ホームルーム活動の活発化を図る (2)各種専門委員会活動の推進を図る (3)生徒会活動・部活動の活性化を図る	<table border="1"> <tr> <td>活動計画</td> <td>                     (1)生徒の実態に合わせて授業を展開し よりよい人間関係づくりに努める。                      (2)各種専門委員会の活動の充実に努める。                      (3)-1生徒会活動の活性化を図り活動計画を作成し充実に努める。                      (3)-2前日祭実行委員会の活動の活性化を図り充実に努める。                      (4)部活動の充実に取り組む。                 </td> <td>活動計画の実施状況</td> </tr> </table>	活動計画	(1)生徒の実態に合わせて授業を展開し よりよい人間関係づくりに努める。 (2)各種専門委員会の活動の充実に努める。 (3)-1生徒会活動の活性化を図り活動計画を作成し充実に努める。 (3)-2前日祭実行委員会の活動の活性化を図り充実に努める。 (4)部活動の充実に取り組む。	活動計画の実施状況									
活動計画	(1)生徒の実態に合わせて授業を展開し よりよい人間関係づくりに努める。 (2)各種専門委員会の活動の充実に努める。 (3)-1生徒会活動の活性化を図り活動計画を作成し充実に努める。 (3)-2前日祭実行委員会の活動の活性化を図り充実に努める。 (4)部活動の充実に取り組む。	活動計画の実施状況											

【備考】 総合評価における「評定」の基準】 A：十分達成できた。 B：概ね達成できた。 C：達成できなかった。

平成30年度 学校評価総括評価表

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	今後の改善方策
人権意識の高揚	(全校レベル) (1)同和問題を中核に据え、様々な人権問題の学習をすることで、差別や人権問題の解決に主体的に取り組む生徒を育てる。  (2)ホームルーム活動を通じ、学年やホームルームの枠を超えた仲間づくりを目指す。  (3)日々の生活や研修等を通じ、教職員の人権意識を高めていく。  (下位組織レベル) (1)人権教育ホームルーム活動の内容や授業方法の充実を図る。 (2)「学校人権の日」の取組や内容の充実を図る。 (3)主体的に考え、行動できるような活動を増やす。 (4)人権教育教職員研修の充実を図る。特に若い先生への研修を充実させる。 (5)自尊感情や自己肯定感を育む授業をし、正しい職業観を身につけたり、いじめなどを防止する。	評価指標 (1)同和問題についての学習を各学年で年間1回以上実施。 (2)学年(1・2組)合同のホームルーム活動を各学年で年1回実施。 (3)活動的な人権ホームルームを各学年2回以上実施。 (4)新規の人権ホームルーム指導案作成2つ以上。 (5)教職員人権教育研修会年3回以上。 (6)人権新聞の発刊 年3回以上。	評価指標の達成度 評定 総合評価		
		活動計画 (1)学校の活動内容や生徒の実態に合わせた内容で同和問題を学習し、主体的に考えさせる活動を取り入れる。 (2)人権教育課とホームルーム担任との連携で教材を作成しする。 (3)グループワークやロールプレイングなど活動的な内容を取り入れた人権ホームルームを行う。視覚的教材も充実させる。 (4)各研究大会や主事研修会などの内容をまとめ、教職員の教材研究に役立ててもらおう。 (5)最新の情報の収集に努める。 (6)毎日の生活にある人権問題について提議し、身近な問題について考えさせる。	活動計画の実施状況		

備考 総合評価における「評定」の基準】 A：十分達成できた。 B：概ね達成できた。 C：今後の努力が必要

平成30年度 学校評価総括評価表

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	今後の改善方策
生活力の育成	(全校レベル) (1) 環境教育の推進を図るために、三好校エコスクールの推進と新学校版環境ISOの推進を実践する。  (2) 学校防災教育の推進を図るとともに、地域防災との連携を図る。  (下位組織レベル) (1) 校内外の美化活動を推進する。 (2) 省エネルギー・リサイクル運動を推進する。 (3) 防災学習の充実 (4) 防災訓練の充実 (5) 教職員生徒の防災意識向上及び防災リーダー育成を行う。	評価指標 1) 新学校版環境ISOの総合評価レベル15以上。 ①美化活動・エコ活動の達成度 90% ②節電昨年度比 10%減少	評価指標の達成度 評定 総合評価		
		2) 学校防災の実践活動における実施時数 6時間以上 ①HRにおける防災・救急救命学習時間の実施 100% ②防災避難訓練実施 校内1回、地域との連携活動1回以上	(所見)		
		活動計画 1) ①-1校内外の清掃美化実践をする。 ①-2施設設備の補修等即対応する。 ①-3ゴミの分別100%を目指す。 ②-1エコキャップの回収と活用を実践する ②-2毎月の電気使用量についてデータを配布する。 ②-3こまめな消灯の徹底など啓発活動を行う。 2) ①-1防災学習をして意識を高める。 ①-2救急救命の適切な指導をする。 ②-1有事の際に対応できる防災避難訓練を計画。 ②-2災害発生時の生徒・職員の生命・身体の安全を確保を目的とした防災研修を実施する。 ②-3地域との連携を図り、合同訓練の実施を計画・実践する。	活動計画の実施状況		

【備考】 総合評価における「評定」の基準】 A：十分達成できた。 B：概ね達成できた。 C：達成できなかった。

平成30年度 学校評価総括評価表

徳島県立池田高等学校三好校 2-X (保健厚生課)

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学校関係者の意見
		評価指標	評価指標の達成度	評定	総合評価
生活力の育成	(全校レベル) (1)生徒一人一人が健康で安全な学校生活をおくる保健厚生への取組の充実を図る。  (下位組織レベル) (1)個々の健康管理を支援する。 (2)健康教育の充実に努める。 (3)性に関する指導を推進する。	(1)保健関係ホームルーム活動 各学年・年2回以上 (2)保健だよりの発行 年12回 (3)①健康状態の把握 80%以上 ②疾病やけがの手当等の理解度 80%以上 (4)性に関する指導の理解度 90%以上 (5)救命救急法等の職員研修受講率 100%			
		活動計画 (1)健康教育ホームルーム活動，性に関するホームルーム活動を計画的に実施する。 (2)学校ホームページや生徒への配布物を通して，健康に関する情報発信を行う。 (3)生徒の健康課題や保健室の実態を保健指導に生かし，生活の改善を図る。 (4)各学年において系統的な性に関する指導を実施するため，年間計画を策定し，関連する各教科と連携を図る。 (5)救命救急法等の研修を実施する。 (1)~(5)学校保健計画・学校安全計画を作成し，計画的な指導を行う。 (6)奨学金の効果的な運用を行う。			

【備考】 総合評価における「評定」の基準】 A：十分達成できた。 B：概ね達成できた。 C：達成できなかった。

平成30年度 学校評価総括評価表

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見 今後の改善方策
開かれた学校づくりの推進	(全校レベル) (1)教育活動の公開及び情報発信により本校教育への理解と関心を高める。  (下位組織レベル) (1)幼小中学校へ情報発信(異校種間連携)を行う。 (2)地域社会との連携による諸行事に参加し学校の活性化に取り組む。 (3)学校Webページを活用し魅力情報の発信に努める。 (4)PTA活動の活性化に取り組む。	評価指標  (1)学校Webページの情報発信状況 年間100回以上 (2)本校行事等に対する報道機関等の取材回数 25回以上 (3)学校開放講座の参加者の満足度 100% (4)保護者の学校行事等への参加状況 年間100人以上	評価指標の達成度  評定 総合評価		
		活動計画  (1)担当者との連携を図る。 (2)-1幼稚園、小学校に食農教育の教材の提供を行う。 (2)-2地域の文化祭等の催し、行事に参加をして本校教育の理解を図る。 (3)体験入学、開放講座などを実施して本校教育への理解を図る。 (4)役員会等の活性化を図り、行事への参加者増加を進める。	活動の成果・課題		

【備考】 総合評価における「評定」の基準】 A：十分達成できた。 B：概ね達成できた。 C：今後の努力が必要

平成30年度 学校評価総括評価表

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	今後の改善方策
キャリア教育	(全校レベル) (1)特色ある農業教育の推進を図る。 (2)地域産業の担い手育成に関する地域連携を推進する。 (下位組織レベル) ①地域連携の推進を図る ②教職員の資質向上を図る ③資格取得の推進を図る ④農業クラブ活動の活性化を図る	評価指標 (1)課題研究成果の充実 (3研究以上) (2)農業研修会への参加 年間3回以上 (3)学校開放講座参加者の満足度 100% (4)農業技術検定合格率 80%以上 (5)学校農業クラブでの成果 県予選3種目以上入賞 (6)地域と連携した取組の推進 年間50回以上 (7)授業に対する生徒の満足度 80%以上	評価指標の達成度 評定 総合評価		
		活動計画 (1)-1農場生産物を活用した6次産業化を推進する (1)-2地域貢献からエシカル消費を推進する (2)教職員の資質向上を目的とした校外研修等に参加する (3)学校開放講座の実施により、地域連携を推進する (4)農業技術検定に対応した補習体制を構築する (5)生徒の意識の高揚を図り、学校農業クラブ活動を活性化する (6)科目「地域貢献」の適正な活動計画と内容の充実を図る。 (7)実習ノートを活用し、実習科目の充実を図る	活動計画の実施状況		

【備考】 総合評価における「評定」の基準】 A：十分達成できた。 B：概ね達成できた。 C：達成できなかった。